



Oita
Wood Architecture
Award 2021

おおいた木の良さを生かした建築賞



目次

ご挨拶・選評……………	①
建築賞概要……………	②
入選作品一覧……………	③
最優秀賞……………	④
特別賞……………	⑥
入賞作品……………	⑧～⑮
応募作品……………	⑯～⑳
選考経過……………	巻末

■ご挨拶



大分県木造住宅等推進協議会会長
井上 正文

大分県木造住宅等推進協議会は、大分県の気候・風土・文化に適合した良質な木造住宅等の生産供給の促進と、地域住宅産業の振興を図ることを目的に昭和60年に発足しました。翌年の昭和61年からは、良質な木造住宅の顕彰を図るため「豊の国木造住宅賞」を創設し、その後、名称を「豊の国木造建築賞」と改め平成27年度まで実施してまいりました。そして平成29年度から、名称を「おおいた木の良さを生かした建築賞」にリニューアルし、2年に1度開催しているところです。

第3回目となる今回も、県内各地から多数のご応募をいただきました。その中から書類選考と現地審査（一部、動画審査）、さらに最終選考を経て、最優秀賞を1点、特別賞を1点、そして優秀賞と入賞を各4点、合計10点を受賞作品として決定しました。ご応募いただいた皆様及び審査にあたられた選考委員の皆様にあらためて感謝申し上げますと共に、受賞された皆様に心よりお祝い申し上げます。

さて、これまで一般的には「木造＝住宅」というイメージがありましたが、近年では、住宅以外の中・大規模建築物の木造化及び木質化が注目されています。また、「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」においては、今年10月に「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に変わるとともに、法の対象が公共建築物から建築物一般に拡大しました。県内でも、大分県立美術館、大分大学学生交流会館、昭和電工武道スポーツセンターなど、木を活用した中・大規模建築物の普及が進んでおり、当協議会でも、このような時代の流れに対応した研修会や見学会に取り組んでいるところです。本建築賞においては、住宅以外にも中・大規模木造建築物や内外装を木質化した建築物も募集対象としていることから、次回以降も皆様方からは木造住宅のみならず多様な木材利用建築物のご応募をお待ちしております。

今後とも、当協議会の活動に対して、皆様方のご協力、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

■審査総評



おおいた木の良さを生かした建築賞2021 選考委員長
末廣 香織

誰もが予期しなかった形でコロナ禍に明け暮れた2020-21年でしたが、世界は徐々にコロナ後の状況に移りつつあります。SDGsというキーワードはもはや当たり前となり、日本政府も2030年度の温室効果ガス排出量を13年度比で46%削減するという大胆な目標を掲げましたが、それでも欧州などの環境先進国に比べると、大きく見劣りしています。コロナ禍は、遠隔会議などのコミュニケーション環境を一変させたのと同時に、私たちの価値観も大きく変えている気がします。建築関連での二酸化炭素排出量は、全体の約3分の1を占めると言われ、建築に木材を使うことは、その低減に大きく寄与すると考えられています。日本でも新国立競技場に木材が使われたことが話題になりましたが、世界ではさらに大胆かつ急速に建築物の木造・木質化が進められています。

「おおいた木の良さを生かした建築賞2021」の審査は、審査員が新メンバーとなったため、改めてこの賞の主旨を確認することから始まりました。そしてコロナ禍の状況を見ながら、書類審査に加えて可能な範囲での現地審査も行い、動画も用いるなどして審査委員全員で作品の内容を確認し、非常に熱心な議論を経て、受賞作品を決定しました。この中で、最優秀賞1点、特別賞1点、優秀賞4点、入賞4点が決まりましたが、中でも最優秀と特別賞に選ばれた作品については、どちらも甲乙付けがたく、僅差の決定となりました。

木造・木質化建築に対する期待が高まる中で、今後もさらに優れた作品をご応募いただき、大分県が世界に誇れる木造・木質建築の先進地となることを期待しています。

■おおいた 木の良さを生かした建築賞 2021 概要

【主催】 大分県木造住宅等推進協議会

【共催】 大分県

【応募期間】 令和3年4月5日（月曜日）～ 令和3年8月6日（金曜日）

【対象建築物】

	新 築		リフォーム※1		内装木質化※2
構 造	木 造		木 造		問 わ な い
用 途	住 宅	非住宅	住 宅	非住宅	問 わ な い
建 設 地	大 分 県 内				

過去5年以内に完成したものを対象とする。

過去に「豊の国木造建築賞」「木の良さを生かした建築賞」へ応募した作品は対象外とする。

※1 リフォームとは、増築、改修、模様替え等をいう。

※2 内装木質化は、新築、リフォームを問わない。

【応募資格】

対象建築物の建築主、設計者、施工者のいずれか

【審査基準】

- ・木の素材を生かした意匠等
- ・建築物の美しさ、街並みや景観との調和
- ・優れた建築技術
- ・環境への配慮
- ・建設コスト縮減への工夫
- ・ユニバーサルデザインや高齢者等への配慮(バリアフリー等)
- ・建築物の機能性、プランニング

【選考委員】

末廣 香織	委員長	九州大学 人間環境学研究院 准教授/建築家
有馬 晋平	委員	造形作家
川田 菜穂子	委員	大分大学 教育学部 准教授
志賀 和美	委員	有限会社 堀木材 取締役
柴田 建	委員	大分大学 理工学部 准教授
八坂 千景	委員	iichiko総合文化センター 企画普及課 副課長

■入賞作品一覧

表 賞	部 門	用 途	建 物 名	所在地	建 築 主	設 計 者	施 工 者
最優秀賞	新築	住宅	地域材パネル工法の家	佐伯市	佐藤 啓之	エス建築設計 佐藤啓之	有限会社 佐藤建設
特別賞	新築	住宅	蓑帽子の家	由布市	小島 健治	小島健治アトリエ	ザイツ建築
優秀賞	新築	店舗併用住宅	Pergora -ペルゴラ-	別府市	紅茶教室ouefcafe	ソルト建築設計事務所 西岡梨夏	株式会社 幸建設
	新築	農機具修理工場	中九州クボタ 玖珠営業所	玖珠町	株式会社 中九州クボタ 代表取締役社長 西山 忠彦	IGA建築計画 入江雅昭	株式会社 佐伯建設
	リフォーム	住宅	『大分の終の住処』	大分市	佐藤 智彦	Kocochi7-行外 一級建築士事務所 西岡美紀	株式会社 竹内工務店
	内装木質化	庁舎・公民館	ゆふいんラックホール	由布市	由布市	株式会社 昭和設計 九州事務所	森田・秋吉 特定建設工事 共同企業体
入 賞	新築	住宅	大分・段々の家	大分市	個人	アトリエ艸舎 一級建築士事務所 鈴木達郎・鈴木美奈	株式会社 幸建設
	新築	住宅	湯布院の別荘	由布市	個人	田中俊彰設計室	株式会社 アイビック
	内装木質化	学校	表現の舞台	大分市	大分市	株式会社 綜企画設計 大分支店	梅林建設 株式会社
	内装木質化	ホテル	おやどカフェ ぐーぐー	日田市	有限会社 ひなの里	DABURA.i 株式会社 池浦順一郎	株式会社 諫山工務所



作品データ

所在地:佐伯市
用途:住宅
建築主:佐藤 啓之
設計者:エス建築設計 佐藤 啓之
施工者:有限会社佐藤建設 佐藤 啓之
延面積:219.63㎡

設計主旨

家族構成の変化に伴い、老朽の進んだ自邸を二世帯住宅へ建替。
木造が持つ架構の魅力を素直に見せたい。母屋や垂木、野地、梁桁柱などシンプルで美しい構造体を見せることで昔からここにあるような有機的な意匠となりました。
また金物仕口を用いた地域材パネル工法を採用。これは県産材を予め工場にて、構造材・面材・間柱・サツシまで一体化した工法。この先の木材及び住宅、大工事情を見据えて採用。
高い耐震性能と断熱性能を持ち合わせた長期優良住宅です。



■選評■

シンプルな外観の木造2世帯住宅です。垂木などの木の構造体を素直に見せる屋根の下で、空間を遮断する壁や建具を極力廃したスケール感の良い居場所が立体的に連続している、極めて良質な住宅です。ただし、設計者が意図したのは、単体の作品ではありません。地元の森林組合と組んで地場杉材を活用し、工場加工のパネル工法を採用することで性能の向上とともに地方における今後の熟練職人不足に備えるなど、木造住宅の現代的課題に果敢にチャレンジしていました。

今後の新たなローカル・ハウジングシステムのモデルとしての期待から、最優秀賞を受賞しました。

審査委員氏名 柴田 建



作品データ

所在地:由布市
用途:住宅
建築主:小島 健治
設計者:小島健治アトリエ(コージーリトル)
施工者:ザイツ建築
延面積:75.22㎡

設計主旨

蓑帽子の家は湯布院町川西、標高800m高原気候の阿蘇くじゅう国立公園内に建つ20坪の小さな週末住宅。霧深い地域のため湿度が非常に高いので、自然素材は調湿効果のため欠かせない。そのため木の構造をあらゆるし、天井野地板や調湿効果を期待できる漆喰と木製サッシを主な意匠材料としている。屋根は入母屋屋根とすることで古い民家を彷彿とさせるとともに、木の屋根を使うことで、森の中に溶け込むよう景観に配慮し、二重垂木や雨仕舞いなど大工技術のいる意匠にしている。この入母屋の高窓は採光と温度差換気の目的を持っている。この家にエアコンはなく、薪ストーブ、薪風呂、バイオトイレ、井戸水などインフラに頼らない環境に優しい住宅を目指している。この家は、木を植え、木を伐採し、おがくずを利用したバイオトイレ、薪を利用した暖房、温度差を利用した換気システムで、自然とともに暮らすことを楽しむ家である。



■選評■

この週末住宅は、大きな入母屋屋根を持つ独特のフォルムが印象的です。施主である設計者が、日本の住まいの原型である「竪穴式住居から着想を得た」と言うとおり、自然と向き合いながら豊かに暮らすことを追求しています。急勾配の屋根に重ねられた木瓦や二重垂木、木製サッシ等は、大工技術によって丁寧に美しく仕上げられており、雨仕舞いの良さだけでなく、断熱性や調湿性をそなえています。また、コンパクトながら構造をいかした3層の生活空間があり、機能性を高めています。

審査員一同の高い評価を得て、「特別賞」を受賞しました。

審査委員氏名 川田 菜穂子



作品データ

所在地:別府市
 用途:住宅(店舗併用)
 建築主:紅茶教室ouefcafe
 設計者:ソルト建築設計事務所 西岡 梨夏
 施工者:株式会社幸建設 幸 勝美
 延面積:162.17㎡



設計主旨

ペルゴラはカフェ併設の平屋住宅である。
 屋根をちいさなスケールに分割し連続させることで、公園に建つパーゴラ東屋のように圧迫感のない建物の在り方を目指した。構造は合理的な2730mmピッチの木柱に、面剛性を担保するCLT屋根を掛け、染色によつて木目を生かした天井仕上材として利用している。
 柱間に対して屋根を半分ずつずらして掛けることにより隣の空間や外部空間と緩やかにつながりを持つ。
 軒の出と、コンクリート床の蓄熱により夏は涼しく冬は暖かい土間空間は、段差をなくし、別府ならではの足湯を楽しめる場所となっている。

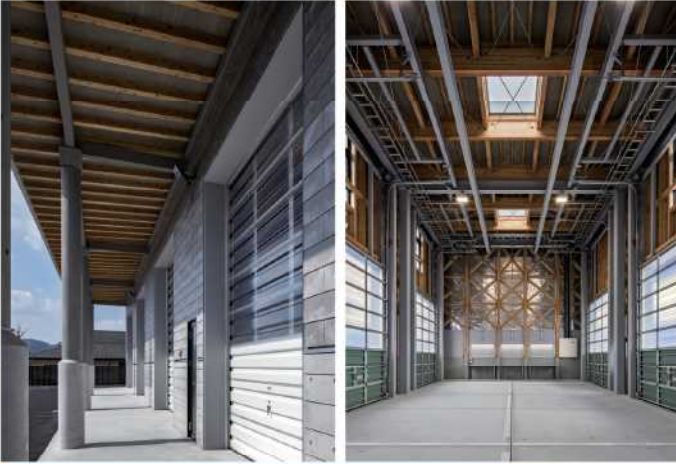
選評

カフェを営むご家族のための平屋の店舗併用住宅です。

V字型断面が連続する特徴的な屋根が、1.5間グリッドの木架構の上に乗る非常にシンプルで力強い構成ですが、その下には自由に平面が広がり、広い庭も含めて屋内外が一体化した開放的な空間を作っています。技術的には、一定の断熱性能と構造性能を持ち、そのまま仕上げ材としても使えるCLTという新しい木質材料の特性を無理なく生かしています。全体的に白っぽく着色した木の表現は、女性オーナーの優しさをイメージしたこともあるでしょうが、そのままだと荒々しくなるCLTの存在感を和らげていて、CLT建築の新しい可能性を示しています。

この大らかな空間と豊かな暮らしは、地域にとっても安らぎを与える大切な風景になることでしょう。

審査委員氏名 末廣 香織

**作品データ**

所在地: 玖珠町
 用途: 農機具修理工場
 建築主: 株式会社中九州クボタ 西山 忠彦
 設計者: IGA建築計画 入江 雅昭
 施工者: 株式会社佐伯建設 川崎 栄一
 延面積: 625.25㎡

設計主旨

玖珠は日田を中心とした杉文化のお膝元である。また木造の建設技術も新旧ともに優れている。その技術を生かして事務所棟、作業棟、展示棟、塗装スペース、産廃置場棟を木造とした。特に作業棟、展示棟、塗装スペースはクレーン用の補強鉄骨以外は日田の新しい木造技術を利用した。

外観については玖珠のデザインシンボルである森機関庫をモチーフとしている。

選評

従来、鉄骨や鉄筋コンクリートによって作られることが多い農機具メーカーの作業場、展示棟、事務所を積極果敢に木造によって作り上げ、木材の持つ自然と生命の風合いを取り込むことで、産業のイメージや機能の力強さを保ちつつ、使う人と訪れる人を心地よく迎え入れ、産業全体の印象を高めるたたずまいを構成したことを高く評価しました。また、地域の杉を用いて近隣の集成材工場で作られた材料を使用し、地域の産業に寄与している点でもこのような工場やオフィスが地域社会に増えていくことを期待しています。

審査委員氏名 有馬 晋平

優秀賞 リフォーム部門「大分の終の住処」



作品データ

所在地:大分市
用途:住宅
建築主:佐藤 智彦
設計者:Kocochiアーキテクト一級建築士事務所 西岡 美紀
施工者:株式会社竹内工務店 代表取締役 篠田 浩利
延面積:188.27㎡

設計主旨

築100年を超える古民家。代々受け継がれてきた住まいの再生プロジェクト。既存の柱梁は松材、建具枠など造作材は栗の木、当時使われていた素材や木組みを積極的に現し、大工技術の高さが伺えるほぞ穴や欠込み跡はそのままだ、「木」本来の良さを生かした意匠となっている。外観は既存真壁に漆喰と焼杉の白黒コントラストが美しい。

隣接する高層マンションや日本製鉄(株)製鉄所が近接する近代的街並みと対照的でノスタルジックな外観は凛として癒しを感じる情景を形成している。また、100年前の建築技術を継承しつつ傾きが大きな箇所には補強を施し耐震性にも配慮した。

本計画は「高性能建材による住宅の断熱リフォーム支援事業」に採択され、住宅性能向上による環境負荷削減を図ると共にドイツ漆喰など自然素材を多く取り入れて住む人にも優しい住宅を日指した。建設コスト縮減に関しては既存部材を積極的に残し、建具・古材の再利用、家具のリメイクなどが挙げられる。

高齢で夫婦の住まいとして、段差解消・手摺の設置・生活動線のストレス軽減など高齢者へ配慮したプランニングの中で、古民家ならではの「暗い・寒い・天井が低い」といった問題も改善した計画である。

選評

施主様がUターンを機に築100年を超える古民家であるご実家のリノベーションしたご自宅は、本来の2階部分を吹き抜けし、梁を活かしています。その梁にある傷も味わい深く、新たな木材ともうまくとけあい、ご先祖様、ご自身のルーツを感じられる快適な空間であることが感じられました。また、奥様が蒐集(しゅうしゅう)していたという欄間などが随所に使用され、とても素敵でした。加えて、これから年齢を重ねていくに伴う家事の負担を軽減する導線が印象的でした。

個人的な話ですが、実家の古民家のリノベーションの参考となるべき点がいくつもあり、夢を持ちました。

審査委員氏名 八坂 千景



作品データ

所在地：由布市
 用途：庁舎・公民館
 建築主：由布市
 設計者：株式会社昭和設計 九州事務所
 施工者：森田・秋吉特定建設工事共同企業体
 延面積：3,809.47㎡

設計主旨

観光地として有名な湯布院において、「文化」「住民の生活」「行政」の「由(よりどころ)」となる施設となることを目指し、以下の点を重視した。

- ①:複合施設のメリットを活かす:「連物のプランニング」「建設コスト縮減」
 行政施設、公民館の境界をゆるやかにし、双方から利用できる施設づくり
- ②:住民の活動を支える:「建物の機能性」「バリアフリー等」
 既存施設利用者とのワークショップをもとにした、湯布院ならではの生活やイベントに沿った施設づくり
- ③:湯布院の街並みに溶け込む:「木の素材を活かした意匠」「街並みや景観」
 商店街と小学校を結ぶ小路づくりや、木の素材を活かしたやさしい表情づくり

選評

音楽祭などの会場となるホール、図書館やコミュニティ施設、庁舎が一体となった複合施設です。

RC造の建物ですが、木のルーバーや庇を印象的に用いることで、街並みに溶け込む柔らかな外観となっています。内部でも、木の反響版に覆われた市民待望の音楽ホール、壁・天井の微妙に異なる木材の表情が美しい由のまちのロビー、来訪者が自由に活動したり由布岳を見ながら過ごしたりできる大きな木テーブル・カウンターのあるスタディラウンジ・3階工作スペースなど、随所に木の温かみを感じる居心地の良い空間がつくられています。

審査委員氏名 柴田 建



作品データ

所在地：大分市
 用途：住宅
 建築主：個人
 設計者：アトリエ艸舎一級建築士事務所
 鈴木 達郎・鈴木 美奈
 施工者：株式会社幸建設 幸 勝美
 延面積：88.89㎡

設計主旨

大分市中心部からほど近い高台の住宅地に位置し細長い30mの旗竿通路を抜けると北側に大きな緑地帯が広がる敷地での計画です。生活の視線はすべて北側緑地帯とつながるよう各部屋を一つながりに配置しました。くの字に曲がったプランは平屋のような低い外観からは想像を超える、軽快な5層断面のスキップフロアとなっています。構造材は大分・上津江村で一年間、丸太のまま天然乾燥された津江杉、また、40mmの床材、18mmの外壁板、30mmの野地板は設計者が木拾いし、徳島の林業家から直接購入し支給した、葉枯らし天然乾燥材の80年生木頭杉です。45度に振られながらの5層断面の複雑な構造体は現代の技術と伝統的な大工技術が融合し、高い精度で建築されました。コロナ禍直前に竣工したこの家で、小さな男の子は休校中も、大黒柱や梁に登ったりと家をジャングルジムのように縦横無尽に住みこなし両親は未完成だった塀やデッキ、家具など、日々、家に手を入れながら元気に暮らしています。

選評

緑豊かな敷地に建つ内外装に木の存在感を感じさせる住宅です。くの字型に折れ曲がった切妻架構を持つコンパクトな平面の中に、細かな段差のあるいくつかの場所を作っています。木材が表しとなった天井は象徴的で美しく、屋内空間は、連続性がありながらも変化に富んでいてとても魅力的です。大きな窓から見える自然の風景からは、季節感が感じられるでしょう。一方、玄関周りの外観、折れ曲がった部分の梁のかけ方、大きな床下空間の扱い、南面からの採光などについて工夫すると、さらに良くなると思います。

審査委員氏名 末廣 香織



作品データ

所在地: 由布市
 用途: 住宅
 建築主: 個人
 設計者: 田中俊彰設計室
 施工者: 株式会社アイビック
 延面積: 116.69㎡

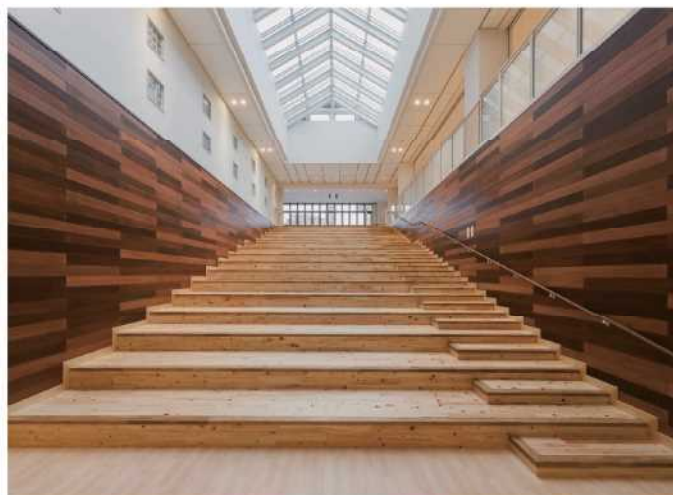
設計主旨

この建物は周辺の豊かな自然を楽しむための快適な木質空間となることを目指した週末住居である。
 敷地は湯布院の別荘地にあり、なだらかな斜面地に位置している。県産材を使用した木造の在来工法によって開放性を高め、湯布院の町を見下ろし、遠方に九重連山を望む眺望を確保した。開口部は断熱性能の高い木製建具を使用している。
 形態は単純で、屋根は斜面地の傾斜角度を意識した片流れとし、極力高さを抑え周囲の建物の眺望も妨げることのないように配慮している。

選評

県産材を使用されており、木のぬくもりを感じることができました。そして、その空間がとても美しかったです。
 木製建具も隠せる収納等として生活感をなくすように使用されており、非日常空間を味わえるよう工夫されています。
 また、九重連山を最大限に眺望できるよう工夫された設計となっており、豊かな自然環境を楽しむことができる住宅です。

審査委員氏名 志賀 和美



作品データ

所在地:大分市
 用途:学校
 建築主:大分市
 設計者:株式会社総企画設計大分支店
 施工者:梅林建設株式会社
 延面積:23,583.16㎡

設計主旨

本作品は、大分市の中心部に位置する荷揚町小学校、中島小学校、住吉小学校、碩田中学校の4校の施設一体型小中一貫校として建設しました。この学校は、「つながりを大切にする学び舎づくり」・「多様な学習を創造する学び舎づくり」・「安心・安全な学び舎づくり」の3つの基本コンセプトを柱に計画されています。

室内計画に関して、小中一貫校という大規模校の特性から学年区分に基づいたゾーニング計画となっています。その中で内装材には、教室の床、図書室の床など各所に多くの大分県産材が使用され、学校生活を通じて、木材の温かきを感じる空間になっています。特に児童生徒の発表の場である「表現の舞台」には壁面にも木材を使用し、階段床にはヒノキが使用され、木の持つ柔らかくで自自然な風合いが表現されています。

選評

大分県内初の義務教育学校として新設されたこの学校は、校舎内に多彩な多目的スペースをもちます。なかでもこの表現の舞台は、昇降口から続く大空間のアトリウム、3階をつなぐ空中ブリッジと一体的に構成され、学校を象徴する場所となっています。天井からの自然光が“ヒノキ”の舞台をやさしく照らし、明るく柔らかな空間を生み出しています。

この場所から多種多様な表現やつながりが生まれ、子どもたちの豊かな創造性や関係性を育む大きな機会となっていくことを期待しています。

審査委員氏名 川田 菜穂子



作品データ

所在地:日田市
 用途:ホテル
 建築主:有限会社ひなの里
 設計者:DABURA.i株式会社
 代表取締役 池浦 順一郎
 施工者:株式会社諫山工務所
 代表取締役 伊藤 哲司
 延面積:677.6㎡

設計主旨

ホテル内の食堂であった空間をのんびりと1日過ごせる滞在型スペースに改修を行った。大小62の部屋で構成されている。
 建物の基準軸から45度回転し、1.5mモジュールで正方形、長方形、三角形と様々な形状が隣り合いながら、バリアフリーに個室が連続展開されている。これらの空間は厚み50ミリの木造の壁でできており、300*900のシナベニヤを表面仕上げとしている。木で包まれた空間とすることにより、リラックス効果を期待している。
 改修にあたっては、できる限り解体工事を少なくし、既存の再利用を図ることで環境やコスト縮減へ配慮している。

選評

旅行の楽しみ方の変化に伴い、使われなくなったホテルの宴会スペースを、温泉の湯上がりにハンモックに揺られたり漫画を読んだりしながらのんびり過ごせる空間にリノベーションした居場所です。

45°角度を振った木の壁が等間隔で組み合わせられることで、まるで迷路のような空間となっています。そこを迷いながら進むと、さまざまな姿勢で休む場所、遊ぶ場所、学ぶ場所が展開するため、いつまでも抜け出せずに思わず一日過ごしてしまうように人を誘う魅力があります。

審査委員氏名 柴田 建

応募作品

新築部門



作品データ

所在地：日田市
用途：住宅
建築主：坂田 光寿
設計者：SKT建築士事務所
施工者：株式会社坂田建設
延面積：69.56㎡



作品データ

所在地：大分市
用途：住宅
建築主：三重野 由喜美
設計者：一級建築士事務所里山設計工房 高橋 和夫
施工者：三重野工務店
延面積：196.37㎡



作品データ

所在地：豊後大野市
用途：住宅
建築主：羽田野 浩司
設計者：株式会社井上建設一級建築士事務所
施工者：株式会社井上建設 代表取締役 井上 隆次
延面積：176.42㎡



作品データ

所在地：豊後高田市
用途：住宅
建築主：是永 裕二
設計者：有限会社三明工務店一級建築士事務所
施工者：有限会社三明工務店
延面積：299.52㎡



作品データ

所在地：佐伯市
用途：住宅
建築主：原田 雅代
設計者：井上 一則・空間工房一級建築士事務所
施工者：直営一分離発注方式
延面積：172.80㎡



作品データ

所在地：日田市
用途：住宅
建築主：森 真一郎
設計者：かじほ一む設計工房 梶原 宏一
施工者：梶ホーム 梶原 宏一
延面積：173.28㎡

応募作品

新築部門



作品データ

所在地：玖珠町
用途：住宅
建築主：古田 浩章
設計者：EMI設計一級建築士事務所
施工者：藤原工務店
延面積：189.26㎡



作品データ

所在地：大分市
用途：住宅
建築主：安東 治
設計者：河野 歩
施工者：株式会社アズコンストラクション
延面積：126.21㎡



作品データ

所在地：中津市
用途：住宅
建築主：山本 英雄
設計者：HIRO建築設計工房 代表者 中尾 忠廣
施工者：CM（コンストラクションマネージメント）にて
施工分離発注
延面積：168.32㎡



作品データ

所在地：日田市
用途：住宅
建築主：梶原 建一
設計者：株式会社アイデア設計室
施工者：株式会社諫山工務所
延面積：105.99㎡



作品データ

所在地：臼杵市
用途：住宅
建築主：御手洗 清登
設計者：株式会社幸建設 清家 奈夏
施工者：株式会社幸建設 幸 勝美
延面積：104.62㎡



作品データ

所在地：日出町
用途：住宅
建築主：個人
設計者：一級建築士事務所大進建設有限公司 黒谷 尚輝
施工者：大進建設有限公司 黒谷 尚輝
延面積：204.86㎡

応募作品

新築部門



作品データ

所在地：別府市
用途：住宅・事務所
建築主：個人
設計者：株式会社幸建設 幸 康史
施工者：株式会社幸建設 幸 勝美
延面積：429.26㎡



作品データ

所在地：大分市
用途：事務所（木材会館）
建築主：大分県木材協同組合連合会 代表理事 安部 省祐
設計者：有限会社アーキワークスTeTsu建築設計室
代表取締役社長 三又 哲博
施工者：株式会社アイビック 代表取締役社長 太田 真司
延面積：337.00㎡



作品データ

所在地：由布市
用途：デイサービス
建築主：デイサービス 明日葉
設計者：建築人PLUS 阿南 利隆
施工者：有限会社建匠 加来 実
延面積：168.38㎡



作品データ

所在地：大分市
用途：幼保連携型認定こども園
建築主：社会福祉法人松岳会 理事長 鹿苑 修
設計者：アトリエテイク 代表 竹宮 浩一郎・高山鮎美
施工者：柴田建設株式会社 代表取締役 柴田 康輔
延面積：165.69㎡



作品データ

所在地：大分市
用途：集会場(葬祭場)
建築主：大分県農業協同組合
設計者：JA全農九州一級建築士事務所大分管理センター
施工者：株式会社高原建設
延面積：815.86㎡



作品データ

所在地：佐伯市
用途：店舗（調剤薬局）
建築主：一般社団法人佐伯市薬剤師会 会長 協田 佳幸
設計者：下村正樹建築設計事務所 下村 正樹
施工者：株式会社足田建築 代表取締役 足田 寛子
延面積：239.70㎡

応募作品

新築部門



作品データ

所在地：竹田市
用途：集会場
建築主：竹田市
設計者：株式会社隈研吾建築都市設計事務所
施工者：森田建設株式会社
延面積：269.59㎡



作品データ

所在地：豊後高田市
用途：保育園
建築主：北畠 法文
設計者：有限会社唯工房一級建築士事務所
施工者：佐々木建設株式会社 代表取締役 佐々木 康介
延面積：758.76㎡

リフォーム部門



作品データ

所在地：臼杵市
用途：住宅
建築主：工藤
設計者：JP HOUSE株式会社 佐藤 宏和
施工者：JP HOUSE株式会社
延面積：123.23㎡



作品データ

所在地：大分市
用途：住宅
建築主：個人
設計者：株式会社カワノ 瀬口 正美
施工者：株式会社カワノ
延面積： - ㎡



作品データ

所在地：由布市
用途：住宅
建築主：柴田 恭兵
設計者：松田周作建築設計事務所 松田 周作
施工者：株式会社成伸工業
延面積：106.807㎡



作品データ

所在地：由布市
用途：事務所
建築主：建築人PLUS
設計者：建築人PLUS 阿南 利隆
施工者：有限会社建匠 加来 実
延面積：19.08㎡

応募作品

内装木質化部門



作品データ

所在地：臼杵市
用途：保育所
建築主：臼杵市
設計者：株式会社大有設計 篠崎 和成
施工者：現代建設株式会社 板井 登喜雄
延面積：1,202.55㎡



作品データ

所在地：大分市
用途：保育園
建築主：社会福祉法人大分県福祉会 理事長 有松 一郎
設計者：株式会社大有設計 高橋 大介
施工者：平倉建設株式会社 代表取締役 平倉 啓貴
延面積：1,025.55㎡



作品データ

所在地：大分市
用途：展示室
建築主：大分県
設計者：松田周作建築設計事務所 松田 周作
施工者：有限会社フェイス・エフ
延面積：42.7㎡



作品データ

所在地：大分市
用途：インスタレーション
建築主：大分市
設計者：松田周作建築設計事務所 松田 周作
施工者：株式会社井上建設
延面積：9.758㎡



作品データ

所在地：宇佐市
用途：社会福祉施設
建築主：社会福祉法人愛育福祉会豊川こども園
設計者：株式会社ジャクエツ 徳本 達郎
株式会社アトリエ9 建築研究所 呉屋 彦四郎
施工者：株式会社佐伯建設 川崎 栄一
延面積：907.44㎡

■審査経過■

今回、新築27作品(住宅17作品、非住宅10作品)・リフォーム5作品・内装木質化7作品の計39作品の応募があり、賞の決定にいたるまでには、計6回の選考委員会を開催しました。

まず、募集締切前に開いた第1回委員会では、前回からの改善も含め、選考実施に向けての審査の方法や基準についての協議を行い、各委員の合意を得ることとしました。つづいて、応募案に対する事前書類審査を行ったうえで、その評価を持ちよる形での第2回委員会において、現地審査対象を絞り込み、新築7作品、リフォーム1作品、内装木質化2作品が現地審査対象に選出されました。現地審査は、今回より動画と写真による審査も可能とし、審査方法を応募者が選べる形としました。

現地審査については、例年、審査員全員で行うところ、今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から各作品を審査員2名で審査を実施しました。また、動画と写真による審査は、最終審査の際に実施しました。幸いにも、建築主をはじめとした各位のご協力により充実したものとなり、審査を3日で終えることができました。

以上にに基づき、第6回の選考委員会において最終審査を実施し、意見百出で熱い協議のすえに、最優秀賞1件・特別賞1件・優秀賞4件・入賞4件を選出することとなりましたが、もちろん、残念ながら選外にとどまったなかにも、注目すべき作品が多く含まれていたことはいまでもありません。

最後に今回の募集から選定にいたる過程を振り返りながら、この「おおいた木の良さを生かした建築賞」がますます活発になり、発展することを祈念し、次回の募集につなげるための付帯意見を申し述べて、審査を終了しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、本賞の開催すらも危ぶまれた状況ではありましたが、建築主をはじめ応募者、建築に携わった関係者の皆さまのご協力のおかげで審査のすべてを無事に終えることが出来ました。審査員、事務局一同心よりお礼申し上げます。

発 行

大分県木造住宅等推進協議会
(大分県土木建築部建築住宅課内)

〒870-8501 大分市大手町3丁目1番1号

TEL097-506-4677

FAX097-506-1779

MAIL a18500@oita.pref.lg.jp

協議会会員

公益社団法人大分県建築士会

大分県木材協同組合連合会

一般社団法人大分県建設業協会

大分県建設組合連合会

大分県建設合同労働組合

一般社団法人大分県建築士事務所協会

大分県職業能力開発協会

大分県森林組合連合会

大分県地域づくり機構(大分県住宅供給公社)

公益社団法人日本建築家協会九州支部大分地域会

大分県農林水産部林産振興室

大分県土木建築部施設整備課

大分県土木建築部建築住宅課